

事業計画書

(2026年4月1日~2027年3月31日)

1. 「語らい座 大原本邸」事業

(1) 入館者数(目標 50,000人)

「語らい座 大原本邸」は大原孫三郎、總一郎の事業経営と社会貢献の理念を現在に伝え、活かすための場であり、同時に当会の収益基盤を確立するためにも、その入館者の獲得が重要となる。

開館以来、入館者数はR6年度まで増加してきたが、昨年度は頭打ちとなっており、本年度、さらに積極的に入館者数の拡大に取り組む。

主要施策としては、

- ① 倉敷市をはじめとする教育委員会等と連携し、小・中学生を中心とした教育の場としての誘致を図る。
- ② 倉敷市の MICE 事業、また旅行業者の観光客誘致企画に、積極的に参画する。

(2) 教育支援事業

本事業の核心は、語らい座大原本邸を単なる歴史的建造物の保存場所としてではなく、連綿と続く生活の営みが蓄積された「時間の重み」を持つ場として捉え、現代社会の未来を構想するための土台とすることにある。

主要な施策は、地域住民を対象とした「くらしき有隣学講座」と、学校および企業を対象とした「カタライザ研修」の二本柱で構成される。2026年度は特に、大原家の社会貢献の歴史を現代の視点で再解釈し、地域とのつながりの深化、シビックプライドの醸成、および企業の持続可能性への考察を促すプログラムを展開する。外部専門家との連携やアーカイブ化の検討を通じ、次世代への継承も見据えた互恵的な学びの場の構築を目指す。

① 事業理念と基本的アプローチ

語らい座大原本邸の教育支援事業は、以下の認識に基づき展開される。

- ・場の定義 : 当館は、保存を目的とした歴史的建造物や映画セットのような再現施設とは異なり、「ずっと人が生活を続けてきた場所」である。この積み重ねられた時間と場の重みが、現代人が明日を考えるための不可欠な土台となる。

- ・事業の目的：互恵的に学び合う場の創出。大原家の歴史を一方的に伝えるのではなく、参加者と共に学びを分かち合い、語り合うプロセスを重視する。

②くらしき有隣学講座

大原家に通底する社会貢献の歴史をたどり、地域とのつながりを再確認することを目的とした連続講座である。

(ア) 2026年度のテーマ

「現代を生きる女性の視点から見る大原イズムと地域実践」 倉敷の歴史や文化、大原イズムを自身の活動(業)に活かしている女性実践者を講師に招く。地域に根差した多様な価値観や生き方に触れることで、参加者の視野を広げることを目指す。

(イ) 開催計画と内容

通年で計6回開催し、内容はアーカイブ化し、次世代の歴史探求に寄与する形式を検討する。

〈開催予定〉

開催日	内容	講師
2026年 6月	倉敷の文化や町並み保存について(仮)	大賀 紀美子氏 (日本郷土玩具館館長)
7月	大原家に残る書簡の数々 ～柳宗悦からの書簡 その2～	水島 博 (公財)有隣会 研究員
9月	民芸運動に関して(仮)	交渉中
11月	倉敷に根を張った活動の紹介とフラワー アレンジメントのワークショップ	すみれ花店 高橋由紀氏
2027年 1月	大原家に残る書簡の数々 ～留学生児島虎次郎からの書簡～	水島 博 (公財)有隣会 研究員
3月	食と文化の教育について(仮)	交渉中

③カタライザ研修

ターゲットを明確に分けたレクチャープログラムにより、大原家の歴史的資産の教育的・産業的価値を引き出す。

(ア) 学校団体向け研修

主に市内の小中学生を対象とし、地域への愛着と誇り（シビックプライド）を醸成する。

- ・学習内容：教科書で学ぶ大原孫三郎の生家を実際に訪問し、大原家の歴史に関するレクチャーを受ける体験学習。
- ・推進体制：教育に関するコンサルティングなどを手掛ける株式会社新閃力（代表取締役 尾崎えり子氏）と業務委託契約を締結。教育委員会や学校現場とのネットワークを構築し、教員が自発的に来館を授業に組み込めるよう支援体制を強化する。

(イ) 企業向け研修

倉敷市内および岡山市内の企業を対象とした、研修やインセンティブツアーとしてのプログラム。

- ・研修の目的：倉敷と大原家の歴史を学ぶことで、自社の存在価値や持続可能性について深く思索する機会を提供する。
- ・プログラムの構成：大原家の歴史を伝えるレクチャー、関連施設（大原美術館、倉敷考古館、倉敷民藝館、倉紡記念館）の鑑賞アレンジ、文化に触れるワークショップを組み合わせる。
- ・連携強化：公益財団法人大原芸術財団が既に行っている企業研修プログラムとの連携を模索し、より多層的な学びの提供を目指す。

(3) 特別展の開催

次の2回の特別展を開催する。開催にあたっては事前周知を行うとともに、くらしき有隣学講座でのギャラリートークの企画等、来館者に大原家への関心、理解をより高めていただくよう努める。

開催日	名称
2026.6.30(火)～8.2(日)	大原家に残る書簡の数々 ～柳宗悦からの書簡 その2～
2026.12.22(火)～ 2027.1.31(日)	大原家に残る書簡の数々 ～留学生児島虎次郎からの書簡～

2. 「第70回大原孫三郎・總一郎記念講演会」の開催

開催日時 2026.7.24(金)

16:00～17:00 高校生等とのプレセッション

18:30～20:00 記念講演会

開催場所 倉敷公民館大ホール

講師 井上章一氏(国際日本文化研究センター所長)

演題 未定

3. 大原總一郎日記研究会

引続き大原總一郎日記研究会を大阪またはオンラインで開催し、読み進んだ日記を整理し、製本する。

また、倉敷にて日記研究会における成果発表の機会を設け(予定2027年3月20日(土))、研究者・関係者の交流及び研鑽の一助とする。

4. 所蔵品の整理、調査、研究及び公開

大原家に関する江戸時代からの古文書や大原孫三郎・總一郎に関する書籍・書簡などの資料を分類・整理し、当会の事業に活用するとともに情報を研究者へ提供する。

また整理済文書のデジタル撮影をすすめており、本年度も継続実施する。

以上

資金調達及び設備投資の見込みについて

1. 資金調達の見込みについて

該当ありません。

2. 設備投資の見込みについて

該当ありません。